

7/10(木) 岩井滝まつり 場所：鏡野町上齋原 岩井滝

岩井滝で行われる伝統的な行事。会場では、ひらめ（あまご）の塩焼きや子宝まんじゅうなど、ご当地グルメも販売される。

お問い合わせ先：（一財）上齋原振興公社 電話（0868）44-2657



7/26(土) 新町地蔵おどり 場所：鏡野町香々美 新町公会堂

旧倉吉街道新町宿の地蔵堂前―帯で毎年続けられている踊りです。天正（1573年～1591年）から続いている踊りで、今年まで1年も休むことなく踊り続けられているといわれています。鏡野町指定無形民俗文化財

お問い合わせ先：新町地蔵踊り保存会（杉田会長） 電話（0868）56-0552



鏡野町泉源園地（ヒラメのつかみどり）の施設利用料金・利用時間の変更について

施設利用料金・利用時間を次のとおり変更いたします。

利用料金：小・中学生 150 円 高校生以上 300 円 利用時間：午前 10 時～午後 5 時

*なお利用期間は通常毎年 5 月 1 日～ 11 月 30 日（平成 26 年は 7 月 10 日から営業）

お問い合わせ先：泉源園地（0868）52-0600・管理人 小椋（0868）52-0056

首都圏アンテナショップ取扱商品を募集中!

東京・新橋に今秋オープン予定の「鳥取県・岡山県アンテナショップ」で取り扱う岡山県商品を募集しています。応募できるのは岡山県内に本社又は主たる事業所がある製造・加工・販売事業者で、生鮮品は県内で生産・収穫されたもの、加工食品及び非食品は県内で製造・最終加工されたか県内産の原材料を使っているもの等に限り出品できます。

応募方法など詳しくは、県マーケティング推進室のホームページをご覧ください。電話番号 086-226-7365 へお問い合わせください。

館長のガラストーク

「生きもののガラス」展

2階展示室に入ると、馬をモチーフにした作品群が正面の展示ケースを埋め尽くしています。今年は午（うま）年だということで、有松さんはこの展覧会のために、たくさんの馬の作品を制作したのです。

馬を作るといっても、1000℃以上の高温のガラスに粘土のように直接手で触るわけにはいきません。竿の先に巻き取った熱いガラスを、それが冷えて固くなるまでのわずかな時間で成形しなければならないのです。

今回、出品された馬の中で一番数が多いのは、チェスの駒の形をした「午（ナイト）」のシリーズです。「チェスセット」ではこげ茶色と透明ガラスのそれぞれ16頭の馬が左右に分かれて向かい合っています。それぞれ役割に応じて大きさが違いますが、顔の表情や口の開き方、たてがみのなびき方などが異なり、変化に富んでいます。

高さが40cm近くある大きな「馬頭I」「馬頭II」ではそれぞれの馬の表情の違いがさらに大きくなっています。竿の先につけたガラスの塊を支えるだけでも大変ですが、徐々に冷めていく流動的なガラスをこれだけの変化に富んだ形に導いていくのは並大抵の技ではありません。そこには、若い時から各地の工場やガラス工房で培ってきた有松さんの確かな技術の裏付けがあるのです。

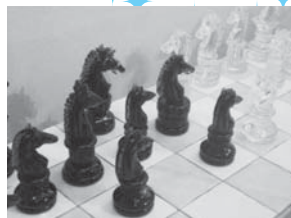


「馬絵皿」 2013 年

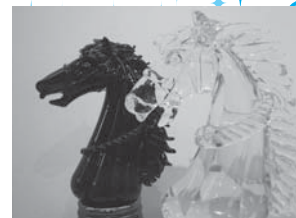
馬のシリーズの中には、他にも透明ガラスに白いガラスを被せ、模様のところをマスキングして高圧の砂を吹き付けた「馬絵皿」があります。羽の生えた「天馬」の周りを白色と透明ガラスの市松模様が囲んでいるこのお皿は、メルヘンのようなほのぼのとした雰囲気漂わせています。

これから本格的な夏に向かい、暑さが募ってきます。ほんのひと時、涼しい美術館の中で先月ご紹介した金魚の群れや今月の馬たちとの出会いをお楽しみください。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造



「チェスセット」 2013 年



「馬頭I」「馬頭II」 2013 年

<展覧会情報>春～夏期企画展「生きもののガラス-有松啓介ガラス作品展」 2014年4月2日(水)～2014年9月8日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話（0868）44-7888